

令和6年度 第4回全国健康保険協会山形支部評議会議事概要

開催日	令和7年3月18日（火）14：00～15：30
開催場所	全国健康保険協会山形支部 会議室
出席者	伊藤評議員、菅野評議員、保科評議員、水澤評議員、吉田評議員、吉原評議員 （五十音順）
議題	- 令和7年度 保険料率・支部事業計画及び支部保険者機能強化予算 - データ分析結果の報告 - その他（年収の壁）
議事概要 （主な意見等）	1. 令和7年度 保険料率・支部事業計画及び支部保険者機能強化予算について 事務局より説明。 【学識経験者代表】 やまがた健康企業宣言の登録状況について、加入者数に占める割合はどういう状況か。また、事業所規模が小さいほど登録割合が低い中で、小規模でも登録している事業所は、していない事業所と違いは見られるか。 【事務局】 事業所数では1,800社に登録していただいております。被保険者カバー率では41.6%となっています。小規模事業所における登録拡大は今後の課題であり、登録の有無の差など分析していきたい。 【事業主代表】 若年層向け健康教室のターゲットとして中高生等も想定されるが、小学生を対象としたのはどういう理由か。 【事務局】 健康教室は全支部的な取組ではあり、本部において小学校高学年を対象として作成したテキストを使用する事業であるが、対象を小学校高学年とした理由は、当支部としては身体の仕組みや健康に関する情報を理解できるようになる年代であること、こどもから保護者への波及による保護者への啓発が期待できること、ととらえている。 【事業主代表】 やまがた健康企業宣言登録事業所の割合は、全国や東北内で比較するとどういった位置か。 【事務局】

全国では 10 位内に位置している。なお、東北は全国的に登録割合が高く、秋田や岩手、青森などが山形よりも上位にある。

【学識経験者代表】

達成が難しい目標もある中で、7年度計画はすべての項目で前年度以上を目標に設定しておられるため、ぜひ頑張ってください。小学校での健康教室は新規事業であることから、7年年度の取組を8年度に活かしてもらいたい。小学校の年間行事は早期にスケジュールが決まるので、7年度の実施状況を8年度につなげてほしい。

【被保険者代表】

医療機関を受診するかしないかは、健康に対する個人の考え方が含まれ、意識の高さが重要。受診しない理由は仕事を休みづらいことや面倒ということが考えられるが、伝え方を工夫してリテラシーの向上に努めていただきたい。規模が小さい事業所で健診受診率が低いのは、仕事を休めないという背景が考えられ、そういったことも踏まえていかなければならない。

【事務局】

広報の内容や方法も工夫していきたい。

2. データ分析結果の報告について

事務局より説明。

【事業主代表】

東北は食塩摂取量が多いわりに、資料では医療費が低い。食塩摂取と平均年齢などとの相関も今後調べてもらいたい。

【事務局】

食塩や運動などの複合的な要因が血圧リスクに影響を与えていると考えられる。なお、東北の一人当たり医療費の低さは年齢調整の影響が大きいことも注意する必要がある。また、医療費は西高東低の傾向にあるが、医療提供体制の差が影響を与えている

3. その他（年収の壁）

事務局より説明。